

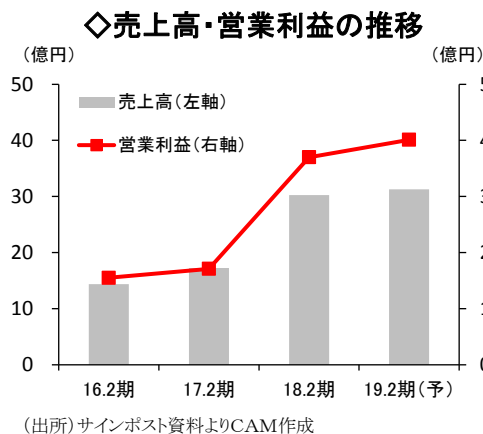
# 企業ニュース サインポスト

(東証マザーズ : 3996) <https://signpost1.com/>

作成者: 村上大志

## 金融機関向けを中心としたコンサルティング事業が柱

2007年、設立。金融機関及び公共機関向けに情報化戦略、システム化構想、業務改善等を提案し、システムの企画、設計、開発、運用の実行・マネジメント支援を行うコンサルティング事業が柱。また、ベンチャー企業等が有するIT技術を応用し、バッチ処理の高速化や事業性評価サービスを提供するソリューション事業も手掛ける。注力するイノベーション事業では、先端ICT技術であるディープラーニングを応用したAI搭載無人レジ「ワンダーレジ」を開発し、実用化に向けた実証実験を進めている。18.2期の事業別売上高構成比はコンサルティング70%、ソリューション27%、イノベーション3%。



## 主力のコンサルティング事業が好調

19.2期・第2四半期累計(3-8月)の業績は、売上高が14億2,300万円、前年同期比3%減、営業利益が1億6,600万円、同19%増。コンサルティング事業は継続取引先からの受注拡大や、地方銀行4行から新規契約を受注し好調だった。一方、ソリューション事業はバッチ高速化ソリューション「ユニケージ」の納品が減少したほか、イノベーション事業は無人レジ及び文字認識技術等の研究開発費が重く、9,400万円の赤字(前年同期は7,900万円の赤字)だった。

19.2期の会社計画は、売上高が31億2,600万円、前期比3%増、営業利益が4億100万円、同8%増。コンサルティング事業の堅調な推移が予想されることに加え、イノベーション事業の業績貢献が期待される。無人レジは既に利用が開始されており、大手企業の売店や弁当販売で導入されている。当社のレジは認識精度の高さに加え、処理スピードも評価されており、海外からの問い合わせも増加している模様。また、既存のPOSレジと連動でき大規模な設備導入の必要がないことから、コンビニやスーパーなど人手不足に悩む小売業を中心に導入が期待される。

## [株価動向・投資判断]

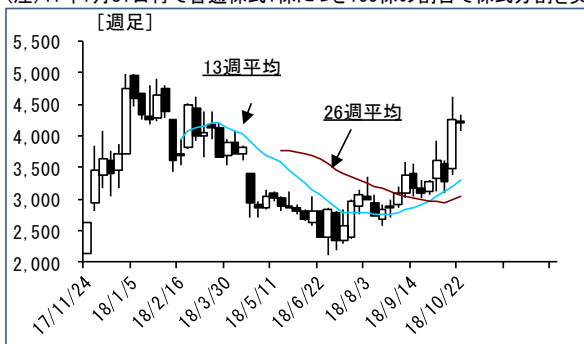
キャッシュレス決済関連銘柄の一つとして関心を集めよう。

<3996 サインポスト 業績:日本基準・非連結>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	百万円(伸び率)	円	円
17.2	1,723(20)	171(10)	166(12)	106(1)	5016.0	1000.00
18.2	3,024(76)	370(116)	357(114)	245(130)	106.4	10.00
19.2 予	3,126(3)	401(8)	398(11)	258(5)	25.2	2.50

(注)17年7月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施。18年3月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施



[主要株価指標] (売買単位: 100株)

株価(2018/10/22)	4,235 円
年初来高値(高値日)	4,630 円(18/2/26)
同 安値(安値日)	2,116 円(18/6/27)
予想 P E R (19.2 予)	168.3 倍
1株株主資本(PBR算出用)	117.1 円
P B R	36.15 倍
予想配当利回り	0.06 %
(1株当たり配当金年2.50円)	
R O E (18.2)	32.4 %
発行済み株式数	1,025 万株